

IV 管理の目標値一覧

IV 管理の目標値一覧

1. 東海地区

1-1 気体廃棄物

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考	
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	J R R - 2 排 気 筒	³ H	3.1 × 10 ⁻³ *	3.8 × 10 ¹¹ *	1.5 × 10 ¹² *	*原子炉本体及び原子炉建屋の解体期間における放出量であり、原子炉本体の維持期間における3ヶ月間平均濃度、3ヶ月間放出量、年間放出量は、各々、5.0 × 10 ⁻⁴ Bq/cm ³ 、6.0 × 10 ¹⁰ Bq、2.4 × 10 ¹¹ Bqとする。	
	J R R - 3 排 気 筒	⁴¹ Ar	6.0 × 10 ⁻²	1.8 × 10 ¹³	6.2 × 10 ¹³		
		³ H	6.0 × 10 ⁻³	1.8 × 10 ¹²	7.4 × 10 ¹²		
	N S R R 排 気 筒	希ガス	1.9 × 10 ⁻¹	2.2 × 10 ¹³	4.4 × 10 ¹³	主な核種 (⁴¹ Ar, ¹³⁶ Xe)	
		¹³¹ I	2.2 × 10 ⁻⁶	2.4 × 10 ⁹	4.8 × 10 ⁹		
	燃料試験施設 排 気 筒	希ガス	7.8 × 10 ⁻²	1.4 × 10 ¹³	2.8 × 10 ¹³	主な核種 (⁸⁵ Kr)	
		¹³¹ I	3.7 × 10 ⁻⁷	6.7 × 10 ⁷	1.3 × 10 ⁸		
		Pu	4.8 × 10 ⁻⁹	2.6 × 10 ⁶	1.0 × 10 ⁷	主な核種 (²³⁹ Pu, ²⁴¹ Pu)	
	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	プルトニウム燃料 第1, 第2開発施設 プルトニウム廃棄物 処理開発施設 プルトニウム燃料第3開発施設 プルトニウム燃料加工施設 排 気 筒	Pu	1 × 10 ⁻⁹	1.9 × 10 ⁶	7.4 × 10 ⁶	全αで測定する場合の3ヶ月間平均濃度は 7.4 × 10 ⁻¹⁰ Bq/cm ³ とする。

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	再処理工場 第1廃棄筒 第2廃棄筒	⁸⁵ Kr	2.3	2.0×10 ¹⁵	2.0×10 ¹⁵	1日当たりの最大放出量 1.2×10 ¹⁴ Bq(ただし1時間当たりの最大放出量 1.2×10 ¹³ Bq)とする。
		³ H	2.9×10 ⁻³	2.5×10 ¹²	1.0×10 ¹³	
		¹⁴ C	2.3×10 ⁻³	1.5×10 ¹²	5.1×10 ¹²	
		¹³¹ I	7.0×10 ⁻⁶	4.8×10 ⁹	1.6×10 ¹⁰	
		¹²⁹ I	7.8×10 ⁻⁷	5.2×10 ⁸	1.7×10 ⁹	
		希ガス	4.8×10 ⁻³	9.3×10 ¹¹	2.7×10 ¹²	主な核種 (⁸⁵ Kr, ¹³³ Xe)
日本原子力発電所 東海第二発電所	CFR排気筒	³ H	2.4×10 ⁻³	4.8×10 ¹¹	1.6×10 ¹²	
		¹³¹ I	2.2×10 ⁻⁶	4.4×10 ⁸	1.3×10 ⁹	
		全放射能	1.6×10 ⁻⁶	1.2×10 ⁹	2.4×10 ⁹	1. 廃止措置期間中の放出量を 1.1×10 ¹⁰ Bq とする。 2. 核種 (⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs) 3. 不検出分は含まない。
東海第二発電所	東海第二発電所 排気筒	希ガス	2.7×10 ⁻¹	4.6×10 ¹⁴	9.3×10 ¹⁴	主な核種 (⁸⁵ Kr, ¹³³ Xe)
		¹³¹ I	1.7×10 ⁻⁵	3.0×10 ¹⁰	5.9×10 ¹⁰	
		U	1.5×10 ⁻⁹	3.5×10 ⁵	1.4×10 ⁶	
株式会社 東海電力	第1管理棟 第2管理棟 第3管理棟	U	〃	7.5×10 ⁵	3.0×10 ⁶	
		U	〃	8.3×10 ⁴	3.3×10 ⁵	
		U	1.5×10 ⁻⁹	3.7×10 ⁵	1.5×10 ⁶	
三菱原子燃料株式会社	転換工場 成型場	U	1.5×10 ⁻⁹	4.6×10 ⁵	1.8×10 ⁶	
		U	1.5×10 ⁻⁹	4.6×10 ⁵	1.8×10 ⁶	

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
積水メダイカル株式会社 創業支援センター	集合排気筒	³ H	7.4×10^{-4}	1.2×10^{10}	4.1×10^{10}	
		¹⁴ C	1.6×10^{-4}	6.1×10^9	2.0×10^{10}	
	第4棟排気筒	³ H	7.4×10^{-4}	1.2×10^{10}	4.1×10^{10}	
		¹⁴ C	1.6×10^{-4}	1.1×10^{10}	3.8×10^{10}	
国立大学法人東京大学大学院工学系 研究科原子力専攻	高速中性子源	⁴¹ Ar	1.5×10^{-2}	1.9×10^{11}	7.4×10^{11}	
	新分析棟排気筒	全放射能	3.0×10^{-9}	1.2×10^5	4.7×10^5	主な核種 (Pu, U)
原子燃料工業株式会社 東海事業所	加工工場排気筒	U	1.5×10^{-9}	5.3×10^5	2.1×10^6	
		U	1.5×10^{-9}	1.2×10^5	4.9×10^5	
	HTR燃料製造施設	全放射能	1.1×10^{-9}	7.4×10^4	3.0×10^5	主な核種 (⁶⁰ Co)
		全放射能	1.1×10^{-9}	4.4×10^4	1.7×10^5	主な核種 (⁶⁰ Co)
ニュークリア・デベロップ メント株式会社	RM排気筒	¹³¹ I	7.4×10^{-8}	2.7×10^6	1.1×10^7	
		U	2.0×10^{-9}	6.5×10^4	2.6×10^5	
	RC排気筒	希ガス	4.8×10^{-3}	7.4×10^{11}	3.0×10^{12}	主な核種 (⁸⁵ Kr)
		¹³¹ I	4.1×10^{-8}	6.7×10^6	2.7×10^7	
U棟排気筒	U	1.5×10^{-9}	3.9×10^4	1.6×10^5		
	全放射能	1.0×10^{-9}	3.0×10^3	1.2×10^4	主な核種 (⁶⁰ Co)	
F棟排気筒	U					
	全放射能					
A棟排気口	U					
	全放射能					

1-2 液体廃棄物

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	第1排水溝	全放射能	3.7×10^{-3}	9.3×10^8	1.9×10^9	1. 全放射能の値は、 ³ H, ¹⁴ C を除く。 2. 第1, 第2及び第3排水溝の全放射能の放出量の和は年間 1.8×10^{10} Bq とする。 3. 全放射能の核種が明らかでない場合は、科学技術庁告示別表の排水中の濃度限度の1/10の値を3ヶ月間平均濃度とする。
	第2排水溝	全放射能	3.7×10^{-3}	5.6×10^9	1.1×10^{10}	
		³ H	6	1.2×10^{13}	2.5×10^{13}	
第3排水溝	¹⁴ C	2×10^{-1}	5.5×10^{10}	1.1×10^{11}		
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	第1排水溝	全放射能	3.7×10^{-3}	5.6×10^9	1.1×10^{10}	全βで測定する場合の3ヶ月間平均濃度は、 3.7×10^{-3} Bq/cm ³ とする。
		U	1×10^{-2}	7.0×10^8	2.1×10^9	
	³ H	1.1×10	7.4×10^8	1.9×10^9		
	U	1×10^{-2}	8.9×10^7	2.7×10^8		
第2排水溝	Pu	1×10^{-3}	8.9×10^7	2.7×10^8		
再処理施設 海中放	全放射能	3.7	2.4×10^{11}	9.6×10^{11}	3 H を除く全β放射能である。	
	³ H	2.5×10^4	2.0×10^{13}	4.0×10^{13}		
日本原子力発電所 東海第二発電所	東海発電所排水	全放射能	3.7×10^{-3}	1.7×10^7	3.4×10^7	1. 核種 (⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ¹⁵² Eu, ¹⁵⁴ Eu) 2. 不検出分は含まない。
	東海第二発電所排水	全放射能	3.7×10^{-3}	1.9×10^{10}	3.7×10^{10}	1. ³ H を除いた値である。 2. 主な核種 (⁵⁴ Mn, ⁶⁰ Co)
株式会社 東シエー・シエー・オーストリア	専用排水管	U	8.0×10^{-3}	2.8×10^8	1.1×10^9	ウランの娘核種(Th)の3ヶ月間平均濃度は、 1.9×10^{-1} Bq/cm ³
三菱原子燃料株式会社	三排	U	8.0×10^{-3}	2.2×10^8	8.8×10^8	ウランの娘核種(Th)の3ヶ月間平均濃度は、 1.2×10^{-1} Bq/cm ³

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
積水メデイカール株式会社 創薬支援センター	専用排水管	³ H	2.0×10 ¹	4.0×10 ¹¹	8.0×10 ¹¹	
		¹⁴ C	2.0×10 ⁰	1.3×10 ¹¹	2.6×10 ¹¹	
国立大学法人東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻	東大排水溝	α核種	1.0×10 ⁻³	3.0×10 ⁵	1.2×10 ⁶	1. 各核種が混在するときは、それぞれの核種の協定値に対する割合の和を1以下とする。 2. β核種は、トリチウムを除く。
		β核種	3.0×10 ⁻²	1.1×10 ⁶	4.4×10 ⁶	
(公財)核物質管理センター 東海保措置センター 原子燃料工業株式会社 東海事業所	機構原研 第1排水溝 排水ポンド	全放射能	1.0×10 ⁻²	7.5×10 ⁵	3.0×10 ⁶	主な核種 (U) ウランの娘核種(Th)の3ヶ月間平均濃度は、 1.2×10 ⁻¹ Bq/cm ³ 主な核種 (⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs)
		U	8.0×10 ⁻³	8.0×10 ⁷	3.2×10 ⁸	
ニュークリア・デベロップ メント株式会社	NDC排水管	全放射能	2.6×10 ⁻³	8.5×10 ⁵	3.4×10 ⁶	
		U	8.0×10 ⁻³	2.6×10 ⁶	1.0×10 ⁷	

2. 大洗地区
2-1 気体廃棄物

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考		
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 大洗研究所	J 排	M 気	R 筒	希ガス	2.0×10 ⁻¹	4.3×10 ¹³	1.3×10 ¹⁴	主な核種 (⁴¹ Ar)
	H 排	T 気	R 筒	希ガス	7.4×10 ⁻²	1.5×10 ¹³	3.7×10 ¹³	主な核種 (⁸⁸ Kr, ¹³⁸ Xe 等)
				¹³¹ I	5.9×10 ⁻⁶	1.2×10 ⁹	3.2×10 ⁹	
				³ H	1.8×10 ⁻²	3.7×10 ¹²	1.1×10 ¹³	
		高速実験炉	希ガス	2×10 ⁻²	1.6×10 ¹⁴	4.4×10 ¹⁴	主な核種 (⁴¹ Ar, ⁸⁵ Kr, ¹³³ Xe)	
			¹³¹ I	7.7×10 ⁻⁷	2.3×10 ⁸	6.2×10 ⁸		
	F 排	M 気	F 筒	希ガス	2×10 ⁻²	5.57×10 ¹²	2.04×10 ¹³	主な核種 (⁸⁵ Kr, ¹³³ Xe)
			¹³¹ I	9×10 ⁻⁸	1.89×10 ⁷	6.92×10 ⁷		
		その他の施設 排気筒	AGF, MMF, MMF-2	希ガス	5.1×10 ⁻³	6.5×10 ¹¹	2.4×10 ¹²	主な核種 (⁸⁵ Kr, ¹³³ Xe)
			廃棄物 管理施設	¹³¹ I	9.5×10 ⁻⁸	3.15×10 ⁷	1.15×10 ⁸	
国立大学法人 東北大学金属材料研究所 附属量子エネルギー材料 科学国際研究センター	ホ 排	ト 気	ボ 筒	全放射能	1.6×10 ⁻⁷	2.2×10 ⁷	7.6×10 ⁷	OWTF共用開始から適用開始
	研 排	究 気	棟 筒	全放射能	2.0×10 ⁻⁶	1.7×10 ⁸	5.6×10 ⁸	主な核種 (⁶⁰ Co, ⁵⁹ Fe)
	ア 元	ク 素	イ 棟	ド 棟	2.0×10 ⁻⁶	5.0×10 ⁶	1.6×10 ⁷	主な核種 (⁶⁰ Co, ⁵⁹ Fe)
	ホ 排	ト 気	ラ 筒	希ガス	2×10 ⁻¹⁰	2.8×10 ⁴	1.1×10 ⁵	Th, U, Np, Am (²²⁷ Ac を使用した時の平均濃度は 6×10 ⁻¹¹ Bq/cm ³ とする)
	株 式 会 社	燃 料 開 発 社	ト 気	ボ 筒	5.2×10 ⁻³	8.1×10 ¹¹	3.3×10 ¹²	主な核種 (⁸⁵ Kr, ¹³³ Xe)
日 本 技 術 研 究 所	第2 研 究 棟	全放射能	8.1×10 ⁻⁶	1.8×10 ⁸	7.4×10 ⁸	4.1×10 ⁸	主な核種 (⁶⁰ Co)	

2-2 液体廃棄物

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 大洗研究所	原子力機構大洗 排水溝(北地区) (廃棄物管理施設, H T T R 等)	全放射能	4×10^{-3}	1.1×10^9	2.2×10^9	1. 全放射能の値は ³ Hを除く。 2. 全放射能の核種が明らかでない場合は、科学 技術庁告示別表の排水中の濃度限度の値の 1/10の値を3ヶ月間平均濃度の値とする。
		³ H	6	1.8×10^{12}	3.7×10^{12}	
	原子力機構大洗 排水溝(南地区) (常陽, FMF等)	全放射能	3.7×10^{-3}	1.1×10^8	3.7×10^8	主な核種 (⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs)
東北大学金属材料研究所 附属量子エネルギー材料 科学国際研究センター	廃液貯槽					国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターに処理を委託する。
日本核燃料開発 株式会社	廃液貯槽					国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターに処理を委託する。

3. 那珂地区

3-1 気体廃棄物

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	JT-60実験棟 排気	³ H	1.6×10^{-4}	3.7×10^{10}	5.5×10^{10}	
	燃料加工 試験棟排気筒	U	1.5×10^{-9}	1.5×10^5	6.0×10^5	
	加工棟排気筒	U	1.5×10^{-9}	1.9×10^5	7.8×10^5	
三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター 那珂エネルギー開発研究所	開発第 I 棟 試験棟	U	2.7×10^{-9}	1.5×10^5	6.0×10^5	
	開発第 II 棟 試験棟	U	2.7×10^{-9}	2.0×10^5	8.0×10^5	
	開発第 IV 棟 試験棟	全放射能	4.9×10^{-7}	2.0×10^6	7.7×10^6	主な核種 (⁶⁰ Co)

3-2 液体廃棄物

研究所名又は事業所名	廃棄施設名	核種等	3ヶ月間平均濃度 (Bq/cm ³)	3ヶ月間放出量 (Bq)	年間放出量 (Bq)	備考
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所	那珂核融合研究所 専用排水管	³ H	6.0	3.7×10^7	7.4×10^7	
		全放射能	1.0×10^{-2}	3.7×10^6	7.4×10^6	³ H を除く全β放射能
		加工施設 (東海地区) の排水ポンドへ移送する。				
三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター 那珂エネルギー開発研究所	開発第 I 棟 排水管 試験棟	U	8.0×10^{-3}	7.2×10^6	2.9×10^7	ウランの娘核種(Th)の3ヶ月間平均濃度は、 1.2×10^{-1} Bq/cm ³
		U	8.0×10^{-3}	6.0×10^6	2.4×10^7	